

平成 27 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録(案)

日時・場所：平成 27 年 12 月 7 日（月）13 時 30 分～15 時 40 分 評議会室

出席者：大田理事長、川口副理事長、廣川理事、濱崎理事、倉茂理事、小出委員、
高橋委員、向井委員、村山委員、横山委員、渡辺委員

欠席者：なし

事務局：木村事務局次長、高居総務グループ統括、三和田財務グループ統括、久保田
経営企画グループ統括、水野学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ
統括、村井地域連携推進グループ統括、中川副参事、青笹主任主事

【議 題】

(審議事項)

(1) 平成 28 年度予算（案）について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

委員からは、研究費や人件費の削減は大学のパフォーマンスの低下につながるため新たな収入源を生み出す努力が必要であることや、運営費交付金をしっかりと担保してもらえるよう県との話し合いを増やす等の工夫が必要であること、企業等と連携し研究用の設備備品を購入、設置できる助成制度の活用や受託・共同研究費等の外部資金を獲得する努力が必要であること等、意見があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

(2) 平成 27 年度補正予算（案）について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

(3) 平成 27 年度職員給与の改定等について

高居総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案のとおり、本学教職員の給与については滋賀県における条例等の改正状況に応じ改定を行うこととなった。

(4) マイナンバー制導入に伴う職員就業規則等の一部改正について

高居総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

(5) 事務局職員の人材育成方針について

高居総務グループ統括から、資料に基づき説明があった。

委員からは、ジェネラリストを育成する軸だけでなくスペシャリストを育成する軸も必要であること、スキルの向上だけでなく生産性の向上という視点が必要であること、また、原案で挙げられたものに加えて IT、URA、IR、国際交流、営業、危機管理、コンプライアンス等の能力を向上させる必要があること等、意見があった。

審議の結果、原案どおり承認され、役員会に審議を委ねることとなった。

(報告事項)

(1) 平成 27 年度中間決算の概要について

資料に基づき三和田財務グループ統括から報告があった。

(2) 財務会計事務適正調査結果報告について

資料に基づき木村事務局次長から報告があった。

(3) 大学COC事業に関する不正行為調査委員会調査結果報告について

資料に基づき廣川研究・評価担当理事から報告があった。

(4) 大学COC+事業の選定結果について

資料に基づき濱崎地域連携担当理事から、大学COC+事業に追加採択されたことが報告された。

(意見交換)

時間の都合により意見交換は行われなかったが、久保田経営企画グループ統括から資料に基づき、地域貢献型に分類された国立大学が多数あり、滋賀県立大学はどのようにそれらの国立大学との差別化を図っていくべきか、ミッションを再定義する必要があることについて説明があった。

(資料配布)

(1) 冬季における節電対策について

(2) 平成 27 年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況等について

(3) 留学状況について

(4) 入学試験の日程について